

## 第3章 FA化の展開における今後の職業能力開発

### 1 生産現場におけるFA化の展開

今回の調査事業所の生産現場における自動化された設備・機器の導入目的は、省人化、品質の安定と向上、生産性の向上等をはかるためであり、この目的も達成されている。自動化された設備機器の導入により、従来の熟練技能を必要とした工程内容の中で自動化が達成されたものは、人間の勘、こつ（手、足、指先などの巧妙な動作、触感、視覚などによる検出能力等）に関係するものが多く占めている。しかし、FA機器の導入状況によって各事業所毎に異なるが、自動化された設備・機器の導入により、従来の熟練技能すべてが不必要となっているのではなく、自動化された設備・工程の中にも、今後FA化を進める上でも、人間の勘、こつが要求される“従来の熟練技能”は必要と考えている事業所が多い。

“従来の熟練技能に付加した技能”と“新たに必要とする技能”を調査事業所の技能者と技術者の区分で見ると、そのほとんどが技術者の領域分野に属している。各事業所では、OJT、OFF-JTにより従来の熟練技能の伝承を実施したり、新たに必要とされる技能教育を実施しているが、その伝承、教育訓練の実施方法・技能分野は、<sup>業種</sup>企業分類によって<sup>は</sup>バラつきがある。何れにしても、技能者に従来の多能工とは違った管理部門、商品開発、国際性等をも含めた幅広い領域にわたっての新しいタイプの多能工としての能力が求められていることは確かで、今後、さらに技術革新が進めば、その要求は強くなるものと考えられる。その場合、いかに技能者に新たに必要とされる技能を付加していくのか、或いは、技術者に従来の熟練技能を伝承していくのかが問題となってくるであろう。どちらの方法が最適であるかはこれからの研究に俟つ他はないが、今後、新しいタイプの多能工型技能者を育てなければならないことは確かである。

### 2 能力開発施設の展望

技術革新が進む生産現場における今後の職業能力開発を考える場合、以下の事項について検討していく必要があると考える。

- 1 従来の熟練技能で必要な技能、不必要な技能の選別。
- 2 今後の技術革新に伴って、新たに必要とされる技能の見極め。
- 3 OJTで実施する技能、OFF-JTで実施する技能の選別。

今回は企業分類を特定せずに調査し、事業所の数も少なかったため、<sup>削減</sup>削減してゆく技能”とそれに代わる“新進の技能”との相違点を詳しく把握することはできなかった。ただ共通して言えることは、自動化された設備機器の導入に伴い新しい設備機器に対する知識および操作技能、保全・メンテナンス技能、トラブル対応技能、製品の品質・生産等の管理技能の必要性が挙げられている。また、応用技能を発揮するためには、従来から伝承されている基礎的な技能の必要性も挙げられており、従来の技能とのバランスを考慮した育成が必要であると思われる。

今後、生産現場が、これまでの少品種大量生産の自動化システムから、多品種少量生産の自動化システムに変化していくことを考えるなら、益々技術革新に伴う“新進の技能”に対応できる技能者の養成が必要となってくると考えられる。そうしたとき、“技能と技術を分けない”技能を念頭に入れた職業

能力開発の体制を形成していかなければならないであろう。

### 3 企業の立場から見た今後の能力開発

生産現場における製造工程の自動化の目的は、企業のニーズにより省人化、品質の安定と向上、生産性の向上等があげられる。企業目的を追求するためには、「最小の投資（人、物、金）で最大の効果を上げる」努力がなされている。

自動機の導入に伴い、機器の操作、トラブル処理方法、機器の保守等をいかに効率よく従事者等にマスターさせるかが企業にとって今日的課題となっている。

実践を通して基礎知識から基礎理論へ、さらに応用知識から応用理論へと段階的に教育してゆくことが大切である。しかし、現実には、手短かにでき、即、役立つ操作等の教育訓練が先輩から後輩、上司から部下へとなされている。

これからの時代は、技術革新のスピード化、企業のスリム化、生産性の向上等、企業を取り巻く環境はますます厳しくなるものと考えられるが、どんな環境変化にも柔軟に対応できるハイテク時代の技能者の育成と、機械化できない特別な技能を持った熟練技能者（高度の技能を持った人）の育成（熟練技能の伝承）との、二つの面で考える必要がある。

業種・企業規模により訓練ニーズがいろいろ変化することが考えられるが、公共職業能力開発施設でフレキシ<sup>と</sup>リティーに体系的・段階的な訓練が、受講できる仕組みにしていくこと、さらに地域・企業の実態にあったオーダーメイド型の訓練が、いつでも直ぐ出来るシステムを構築することである。